

衆議院外務委員会ニュース

【第204回国会】令和3年4月2日（金）、第5回の委員会が開かれました。

1 茂木外務大臣から発言がありました。

2 国際情勢に関する件

- ・茂木外務大臣、中山防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）尾身朝子君（自民）、佐藤茂樹君（公明）、岡田克也君（立民）、阿久津幸彦君（立民）、穀田恵二君（共産）、浦野靖人君（維新）、山尾志桜里君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

尾身朝子君（自民）

- （1） 「自由で開かれたインド太平洋」
 - ア 同構想の実現にかける茂木外務大臣の思い
 - イ 同構想の実現に向けた英国を始めとする欧州諸国との外交のあり方
- （2） 国際機関のトップポスト獲得に向けた政府の戦略
- （3） 海外の日系人社会との新たな形での連携の必要性に関する政府の所見

佐藤茂樹君（公明）

- （1） 北朝鮮によるミサイル発射（2021.3.25）
 - ア バイデン政権の認識及び姿勢に関する日本政府としての受け止め
 - イ 日米韓による政策調整及び連携の方途
- （2） 施行後5年間の平和安全法制の実績及び法制の意義

岡田克也君（立民）

- （1） 米国新政権の外交・安全保障政策と日米同盟
 - ア バイデン米政権が発表した国家安全保障戦略の暫定指針に関する茂木外務大臣の所感
 - イ 前政権から大幅に変更された米国の外交方針に対してその都度歩調を合わせる日本の外交姿勢に対する茂木外務大臣の所感
 - ウ 4月に開催が予定される日米首脳会談において首脳間で民主主義の重要性を共有する必要性
 - エ 日米首脳会談に茂木外務大臣が同行しない理由
- （2） 対中関係と日米同盟
 - ア 米中外交トップ会談に対する茂木外務大臣の所感
 - イ 安全保障上の脅威でありながら経済的には相互依存関係にある中国への対応方針に関する日米外相会談での内容
 - ウ 米中間での軍事的なバランスが崩れ中国が有利になりつつある現状に関する認識
 - エ 日本からフィリピンを結ぶ第一列島線に地上発射型ミサイルを配備すると米国の構想により、在日米軍基地における地上配備型ミサイルの配備を米国から求められる可能性
 - オ 平和安全法制上、台湾海峡有事の際に自衛隊が一定の役割を果たすことが可能か否かの確認
 - カ 平和安全法制が想定する重要影響事態や存立危機事態が起り得る可能性を政府が説明する必要性
- （3） 北朝鮮関係
 - ア 2018年の米朝シンガポール合意のバイデン米政権における位置付けに関する茂木外務大臣の所

感

イ 日米韓協力を含めた北朝鮮の非核化に向けた交渉の進め方

- (4) インド太平洋地域の安全、平和、繁栄にとって日米韓の協力が不可欠である中、2月に就任した韓国の新外相と会談を行う必要性

阿久津幸彦君（立民）

ミャンマー情勢

ア 最新のミャンマー情勢に対する茂木外務大臣の見解

イ 我が国がミャンマー国軍に対して持つパイプについての茂木外務大臣の認識

ウ 2020年8月24日に行われた茂木外務大臣とフライン国軍司令官との会談の内容

エ 2020年11月8日にミャンマーで実施された総選挙の結果に対する茂木外務大臣の評価

オ ミャンマー国軍による政権奪取に対する政府の認識

カ 民主的な政治体制の早期回復に向けた我が国の取組状況

キ ODAの停止を含め、我が国がミャンマーに制裁を課す可能性

穀田恵二君（共産）

(1) ミャンマー情勢

ア ミャンマー国軍は、拘束した全ての人々を直ちに解放し、昨年秋の総選挙を経て民主的に成立した国民民主連盟（NLD）政権への原状復帰を早期に行うべきとの原理原則についての茂木外務大臣の所見

イ 民主的に選ばれた政権を軍事クーデターで倒すとの重大な暴挙を容認してはならないとの考えに対する茂木外務大臣の見解

ウ 我が国政府はミャンマー国民の意思に応え、軍政の正当性を認めないという立場を明確にして、国際社会の取組のための積極的な役割を果たすべきとの考えに対する茂木外務大臣の見解

(2) イージス・システム搭載艦のレーダー選定問題

ア 陸上幕僚監部作成文書「陸上配備型イージス・システムの構成品選定案について」

a 同文書の黒塗りを外して再提出することを拒否した理由

b 同文書に秘匿されているレーダーの選定経緯が記載されている可能性

c 選定経緯が国会や国民に秘匿されているにもかかわらず選定作業は「公平公正に行われた」との答弁を繰り返しても国民の理解を得られない可能性

イ 米ミサイル防衛庁（MDA）長官と防衛省整備計画局長との面会（2018.7.23）

a 面会記録文書の提出を拒否した理由

b 面会においてMDA長官からSPY-7の選定を働き掛けられた事実はないことを客観的に検証するために記録文書を提出する必要性

c 中山防衛副大臣による面会記録の内容の確認の有無

d 面会時におけるロッキード・マーチン社の関係者の同席の有無

e 3月10日の外務委員会の際に面会記録文書を確認せずに答弁したことは無責任であるとの指摘に対する中山防衛副大臣の見解

f 防衛省が情報公開法に基づき定めた審査基準における行政文書に一部不開示情報が含まれていた場合の当該文書の開示に係る取扱い

g 同審査基準に照らせば黒塗りしてでも面会記録を開示する必要性

浦野靖人君（維新）

- (1) バイデン政権が脅威と位置付ける中国に対する我が国の認識
- (2) 中国との関係が悪化した場合の中国に進出している日本企業が抱えるリスクに関する政府の認識
- (3) 尖閣諸島の魚釣島に設置されている灯台を海警法の解釈によって中国が強制撤去する可能性
- (4) 我が国と台湾との関係強化についての政府の見解
- (5) 香港の民主活動家が我が国に亡命を求めてきた場合の政府としての対応策
- (6) 3月11日にロシアの空軍機一機及びロシア機と推定される識別不明機八機が我が国に接近した際の自衛隊の対応

山尾志桜里君（国民）

- (1) 在中国日本大使館における中国人職員の採用
 - ア 募集要領にある「北京外交人員人事服务公司」の概要と同機関での「関係手続」の内容
 - イ 査証業務に関わる中国人職員の数
 - ウ 査証業務におけるデータ入力の具体的項目
 - エ 中国人職員の秘密保持義務の有無
 - オ 中国人職員に対する中国の国家情報法に基づく情報活動に対する協力義務の適用の有無
 - カ 中国人職員の採用の在り方を見直す必要性
- (2) ミャンマー情勢
 - ア 昨年の選挙における結果に影響を及ぼす不正の有無についての我が国政府の見解
 - イ 国民民主連盟（NLD）側と我が国政府との対話についても発信していく必要性